

市政一般質問発言通告書（会派代表）

令和7年8月21日

多治見市議会 議長様



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	市民意識調査から見る市政への要望（重点施策）は
質問要旨	令和6年度の市民意識調査の今後力を入れてほしい施策を、20%以上で要望が多い順番は以下の通りである。1、高齢者支援、2、道路環境の整備。3、学校教育の充実4、公共交通施策の推進、5、企業誘致、6、中心市街地活性化であった。この内4番までは25%以上、5、6は20%を若干上回るものだ。ちなみに7番目は健全財政である。今回は、4番までの状況について以下質問する。
質問項目①	高齢者への支援は人口の高齢化に伴い必然と考えるが、一般に支援とは与えるばかりではなく社会参加、生きがいつくりの機会も必要である。 ① 市民農園の拡大の意思。当市の市民農園の規模と利用者、形態について伺う ② 高齢化に伴い、ゴミ出しが困難な世帯が増えている。実施に向けて検討するとの答弁があったが、その後の検討はどうなっているか？
質問項目②	道路環境の整備については、 ① 音羽 小田線の整備について報告があったが、実際どのような形になるのか。整備費とスケジュールについて確認したい。
質問項目④	学校教育の充実（不登校児童・生徒への対応）については ① 6年度では校内教育支援室を充実し相談、学習、リラックスの3スペースとして、ほほえみ相談員、教員等配置とある。7年度に教育支援員をトライサポーターに移行するとあったが、トライサポーターはほほえみ相談員ではなかったか？ （また、ほほえみ相談員（室）への入室制限があったと聞くが実態、理由は？） また、ほほえみ相談員は無資格であるが、教員免許、心理士などの資格を設けるべきではないか？ ② 図書館司書の配置について、図書館司書の担当校が一人5校という、現在どのような変化があったか？ また、精華・小泉小、陶都、多治見、小泉中のマンモス校については専属の司書配置を望みたいがいかがか？
質問項目⑤	公共交通策の推進については、 ① バスチケットの補正1000万円余が計上されているが、この使用の地域による比較はどうか？ ② 相乗りタクシー利用の低迷地域に「よぶくるバス」等を導入する考えはないか？
質問の相手方	市長、経済部長、環境文化部長、建設水道部長、教育長、都市計画部長